

# 消毒薬の濃度を点検してください

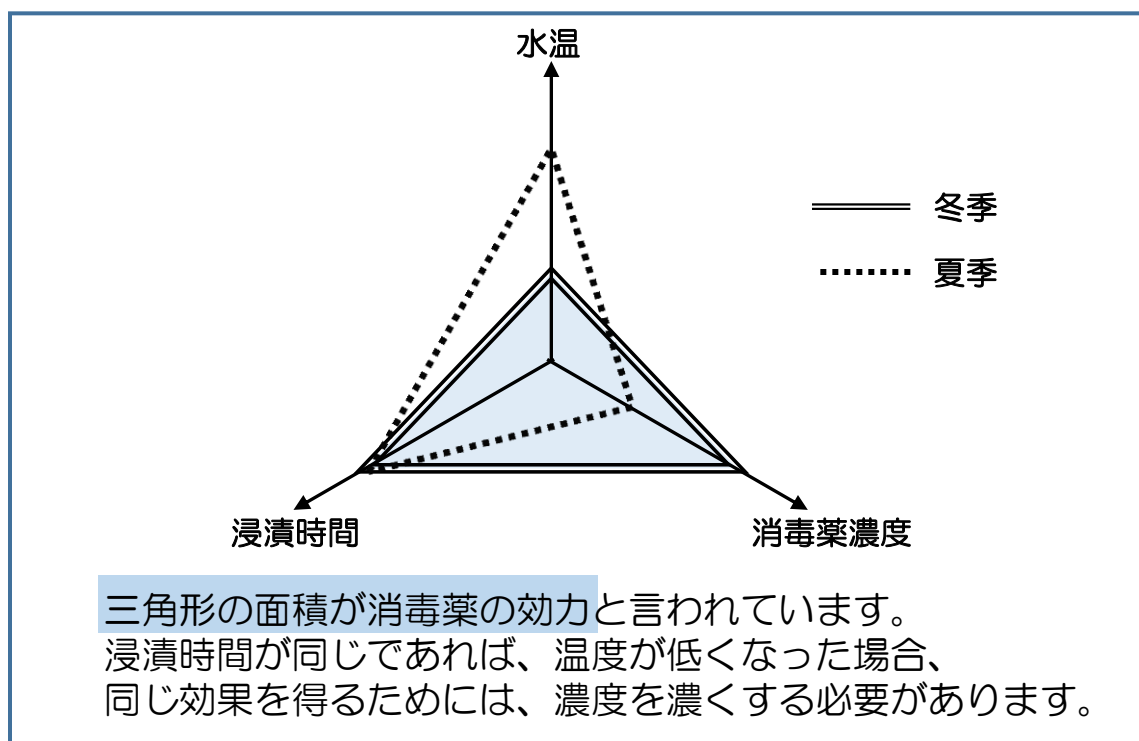
消毒薬は一般に、温度が低くなると効力が弱まります。  
 冬季は夏季よりも濃度を濃くして使用してください。  
 また、泥などの有機物が混入すると劇的に効果が落ちます。  
 踏込消毒槽は、消毒槽の前に水洗槽を設置しましょう。

各温度における最大有効希釈倍数（倍）

消毒薬	5℃	15℃	25℃
アストップ	200	800	3,200
パコマ	50	100	800
ゼクトン	1,000	1,600	3,200
トライキル	1,000	3,200	6,400



出典: 迫田義博ら、鳥インフルエンザウイルスに対する消毒薬の効果 日本獣医師会雑誌 60 p519-522(2007)



**踏込消毒槽はできるだけ毎日交換し、  
 鶏舎内にウイルスを持ち込まないようにしましょう!!**

京都府中丹家畜保健衛生所  
 TEL 0773-25-1860  
 (休日・夜間は転送されます)

福知山市字半田371-2  
 FAX 0773-25-1861